

児童引き渡しの確認

先日も四国地方で震度6強の地震が起きました。今年に入り、能登地方と大きな地震が起っています。いつ何時、引き渡しが必要になるかわかりません。先週、本校でも地震からの火災の避難訓練を行いました。引き渡し訓練は、運動会の際に行う予定ですが、その前に命に関わる大切なことですのできちんと確認をしておきたいと思います。ご協力のほどよろしくお願いいたします。



もし、震度5弱以上の地震が起きたら

震度5弱とは、小山市の震度が5弱以上の時で、小山市では中央町と神鳥谷の2カ所に地震計がありますが、どちらか一方でも震度5弱以上であったら、ということです。

1 学校にいる中で震度5弱以上の地震が起きた場合

子供は、すぐに安全な場所に避難させます。そして何時であろうと、すぐにお迎えをお願いします。例えば、朝の9時に地震が起きても、すぐに迎えに来てください。児童引き渡しとなります。その日は学校では安全点検を行います。次の日の登校については、学校からメールや電話等を使ってお知らせいたします。災害級の場合には、停電などで連絡ができないこともありますので市からの情報なども参考にしてください。

2 家で震度5弱以上の地震が起きた場合

夕方や、早朝に震度5弱以上の地震があった場合は、校舎の安全確認及び通学路の安全確認を行った上で、登校できる場合はメール配信を行います。その際、早朝などの場合は、「9時登校」などの措置をとらせていただく場合もあります。登校できない場合もメール配信は行いますが、災害級の場合はメール配信できないことがあります。

3 登下校中に震度5弱以上の地震が起きた場合

この場合は、子供の判断力がたよりです。学校に近い場合は、そのまま学校に登校してもらってもかまいません。(下校の場合は、学校に引き返してきてかまいません。)家に近い場合は、家に帰ってもかまいません。もちろんその場で子供たちは震度5弱以上などとはわからないでしょうから、たとえ震度4だったとしても家に戻ることもあるかもしれません。それは自分の命を守る行動としていいことです。この登下校中の場合には、保護者の方々とお子様とで考えておいてください。例えば、「どこまでだったら学校に行く(戻る)。」「〇〇のところで地震がおきたらブロック塀や電柱があるから近寄ってはだめだよ。」などです。

学校に来た児童については、引き渡しを行います。また、家に戻った児童については、安全確認をしますので、学校から連絡させていただきます。よろしくお願いいたします。

自分の命は自分で守る。人と助け合うことは大切ですが、決して人を当てにすることなく、自分で難局を切り抜く力が大切です。学校でもそのような主体性をもつように指導していきます。